

令和5年

第4回新温泉町教育委員会会議議事録

(令和5年4月19日開催)

新温泉町教育委員会

令和5年第4回新温泉町教育委員会会議録

1 日 時 令和5年4月19日（水）午後1時30分～午後2時50分

2 場 所 新温泉町 会議室

3 出席者 西村教育長

（委員）宮口教育長職務代理者 山本教育委員 村尾教育委員 欠席）阪本教育委員

（事務局）吉田こども教育課長 西脇生涯教育課長、樹岡こども教育課参事

4 会議録署名委員 山本教育委員 村尾教育委員

5 傍聴者 0人

6 議 事

日程第1 会期の決定

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 協議事項1 浜坂地域の認定こども園の整備について

日程第4 次回新温泉町教育委員会日程について

開会 午後1時30分

○西村教育長 只今より令和5年第4回新温泉町教育委員会を始めさせていただきます。

本日は、阪本委員が欠席ですが、過半数に達しておりますので会議は成立しております。

皆さん、改めまして、こんにちは。本日は急な教育委員会の開催ということで、公私ともに大変お忙しい中、時間調整をしていただきまして、出席いただきましたこと本当にありがとうございます。

浜坂認定こども園のことにつきまして、ご協議をいただきたい案件がありますので、急ではありましたが、お集まりいただきました。教育委員の皆様のご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、日程第1の会期の決定についてです。本日の午後3時までの1日間としたいと思いますが、ご異議ございませんか。（「はい」の返事有り）異議なしということで進めさせていただきます。次に日程第2の会議録署名委員の指名ですが、山本委員と村尾委員をお願いいたします。次に日程第3 協議事項1 浜坂地域の認定こども園の整備について ご協議をいただきたいと思っております。まず、事務局より説明を行います。

○吉田課長 （配布資料を説明）

○西村教育長 資料の説明が終わりました。このことに関しまして、どんなことでも結構ですので、ご意見をお願いします。

○宮口教育長職務代理者 今まで何度となくこういう話を積み重ねてきている中で、今回もきちっと分かりやすく整理されていると思います。議員さんからの要望事項に関して簡潔に書かれているなどと思って見させてもらいましたが、状況が大きく変わってないんで、考え方は変えようがないんじゃないかなと思うんです、教育委員会として。

○山本委員 先ほどの説明の中で、浜坂地域と大庭地域の統合というような声もあって、早急に在り方について整理する必要があるということは理解できますし、いただいた資料と説明、大変よく分かるし数的な根拠もはっきり示されていると思いました。町全体ではマイナスの領域に入っているけれども、大庭と浜坂は全然マイナスになっていないということは、結局温泉地域の減少だということがこの数値からはっきり分かります。そういうことを根拠にしたら特段、浜坂地域と大庭地域を今すぐ合併する必要があるというのにはならないと思うんですね。0歳から6歳までといえば、学校でいったら6学年と一緒にです。六十何名という数が大庭にもいるわけですから、むしろ現実の小学校の中でこの数より少ない小学校もあるわけで、それでいったら、浜坂地域と大庭地域を今すぐ統合ということは、そういうところからも考えていかなくてもいいということをはっきりと伝える資料になっていると思います。きちっと整合しているなど思いましたので、これで何とか理解を得られたらいいなと思います。ただ、ここに整備検討委員会というものが出てくるんですが、今までに1期と2期の整備検討委員会が持たれて、一定の方向を出しながら、今はないわけですね。この整備検討委員会は先ほど言われたように、本来だったら園そのものとか、生活に関することの議論をするべき委員会だけでも、今後第3次の整備検討委員会はそういう格好で出るんですかね。

○西村教育長 課長。

○吉田課長 その予定です。当然、現場の意見も聞きながら、保護者の意見も聞きながら、地域の意見も聞きながらとなると、組織をつくってそれぞれに参画していただいて、意見を集約する必要があると思いますので、しっかりと組織をつくって、その中でいろんな関係者の意見を聞いて、いいものをつくっていく、そういう予定で考えているところです。あと、冒頭、人数の話がありましたけど、どこも減るこ

とは減るんです。減り方の違いということで、浜坂のほうが比較的緩い。特に大庭はもっと緩い。温泉地域のほうはきつい。そういうことがこの数字の捉え方だと思います。おっしゃるとおり大庭は何とか2桁は維持できるかなという中で、統合は時期尚早かなという思いであります。

○山本委員 統合ということになると、いろんな思いを持たれている方がありますので、もちろん数字だけで測れるものではありませんし、それこそ昨年度から言わせてもらっとるんですけど、小学校の統合も含めて、コミュニティ・スクールの中で議題にし意見を聞きながら、行政として方向を決定していくというプロセスって大きい、大事だと思うんです。その地域のいろんな立場の方が出てこられて、その学校のいろんなことに対しての思いをたくさん持たれている皆さんですので、そういう中での議論を受けて町としてどうするのかという最終判断になるべきかなと思うんですけどね。あとは、園児数が全体ではマイナスなんだけども、浜坂とか、特に大庭なんかは減っていないということを思ったら、やっぱり慌てる必要はないというのは、本当に言われたとおりの結論じゃないかなと思っております。

○村尾委員 よろしいでしょうか。

○西村教育長 村尾委員。

○村尾委員 大庭認定こども園の園児数の説明があったんですが、豊岡では具体的な園児数をもとに統合を判断するというような計画が示されているということだと思うんですけど、統合はまだ早いんだよということが説明できる資料として、豊岡も参考にしながら新温泉でも考える必要があるように思います。議会の中で統合の意見もあれば場所の意見もある。1つずつ消していかないと、議論がなかなか先行きしないんじゃないかなと思います。

○西村教育長 課長。

○吉田課長 豊岡のように一定の整理ができれば分かりやすいという思いも確かにあります。ただ、こども園の統合はこども園だけの問題じゃなくて、幼小の連携の中で、小学校への接続というところもしっかりと考えていかないといけない。その中で今の小学校の規模、将来も見据えた中では、小学校のほうが厳しい状況が想定される。山本委員からもご発言がありましたが、町の総合計画であったり、教育振興基本計画であったり、令和4年度から5か年の計画の中で、学校の在り方について検討する必要があるということが盛り込まれていますので、特に小学校の在り方についてはしっかりとこの5年間で検討していく必要があると考えています。ただ、

安易に統合ということではなくて、できるだけ地域に根差した教育をしていただきたいという思いは一方である。ただ、どこかしらで維持していく限界があるということも一方で考えておく必要があるというところでしっかりと議論をしていきたいと考えています。

○山本委員 よろしいですか。

○西村教育長 山本委員

○山本委員 今までの積み重ねの中で今がある、検討委員会をはじめ、いろんな人のいろんな知恵が積み重なっての今だということを重く受け止めていただきたいというのを私は思いますけど。何も教育委員会が独自に突っ走ってきたわけでもない。今までありとあらゆる手段や提案を行いながら、ここまできてやっているわけで、ここに書かれていることをそのまま何とか進めていただきたいなと思います。

○宮口教育長職務代理者 山本委員さんが今言われたことを私も思います。これまで本当に長い議論になっていますが、これだというものを持っていけば必ずそれは理解してもらえるとと思います。

○西村教育長 ありがとうございます。本当にここに来るまでにいろんなことがありながら、まだまだ方向性が、今回はこうやって出すんですけども、なかなかいい形で進んでいないというのが現状で、責任を感じるわけなんですけれども、本当に子どものために何が一番なのかということをやっぱりしっかり考えながら、現場で働いている人たちもいるわけですし、町にとってどうなのかということも考えながら進んでいかなければいけないということは思っていますので、教育委員会としての理念を持ちながら、理解を求めながら大切にやっていきたいとは思っています。では、ご意見が出尽くしたと思いますので、この案を教育委員会としての考えとして、町長に報告させていただきます。また、今度の民生教育常任委員会にも提出させていただいて、教育委員会としての考えをしっかりと議員の皆さんに伝えたいと思います。この案でいかせていただいてもよろしいでしょうか。（委員全員「異議なし」）どうもありがとうございます。

では、これで委員会を閉じたいと思います。宮口教育長職務代理者、挨拶をお願いします。

○宮口教育長職務代理者 今日阪本委員が所用で欠席されましたけれども、認定こども園の問題は本当に長引いております。何とか早く軌道に乗って子どもたちが安心安全な生活を送れるように我々も力になればいいなと思います。年度当初は何か

と大変な時期とは思いますが、よろしく申し上げます。本当に今日はありがとうございました。

閉会 午後 2 時 5 0 分
